

梅の里



6年生が伊那養護学校2名の友だちとの副学籍交流をしました。例年、お互いの学校に行き来して交流会をしているところですが、今年度はコロナ感染防止のため、ZOOMでの交流会となりました。「最近がんばっていることは何ですか?」「好きな歌は何ですか?」のような質問をし合ったり、自分たちが思っていることを作文にして発表したり、全員でパプリカの歌と合唱とダンスをしたり…。あっという間の15分間の交流会が終わりました。

「一緒にパプリカを踊れてとても楽しかったよ」伊那養護学校の先生が感謝の言葉を語ってくださいました。画面越しの相手に対して、6年生は「喜んでらおう」「楽しい時間にしよう」という気持ちを態度で表していたように思います。相手に喜んでもらえるようなことができた(自分を好きになる)、1

つの目的に向かってみんなで一緒に取り組むことができた(他人を好きになる)交流会になったのではないかと感じました。

充実の岡谷・諏訪社会見学 (4年生 9月10日)



長野市を中心とした見学地を予定し、計画を進めていた4学年ですが、長野市の感染状況が悪化し、実施可否の校内基準を満たさなくなってしまったため、急きょ岡谷諏訪方面に見学地を変更しました。4学年は「話している人の話をよく聞き、返事をする」ということを4月から取り組んできています。出発の会の様子を見てみると、子どもたちの中に十分に意識されてきているなと感じました。

帰りの途中で箕輪ダムの見学を取り入れました。4年生は「暮らしと水」という社会の単元を学習します。見学後、各クラスでは「箕輪ダムの水はどこからやってくるのか」「どうしてダムの水はなくなるのか」「ダムの水はどこへ行くのか」という疑問から学習がスタートしました。



「ダムの水は浄水場できれいにするんだよ。それで家に水が来る」
「使った水は川に流すとしたら、川や海は汚いってこと?」
「海で雲ができて、また雨が降る」
「水は無限ループってことかな?」
「宮田村は箕輪ダムだけの水を使っているの?」

「うちは地下水を使っているよ。おいしいよ」

「宮田には浄水場があったっけ?」

たくさんの疑問を持ち、17日に浄水場へ出かけました。

(宮田を好きになるきっかけにもなったと思います)



マナーを守って安全にテキパキ行動して楽しく海のことを学ぼう！

5年生臨海学習（新潟方面 9/16.17）



5年生の教室の黒板に、6年生が「おかえりなさい」のメッセージを作成してくれていました。どれだけ温かい気持ちになれたことでしょうか。下の学年を思う気持ち…「宮小家族」の姿だなと思います。

例年であれば、愛知県の日間賀島を目的地とする臨海学習は、現地の感染レベルが高くなったことを受け、実施可否の校内基準を満たさなくなったため、新潟県へ行き先を変更し実施することができました。保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。



「行って良かった！」子どもたちと先生方の第一声です。5年生は、臨海学習だけでなく、来年の修学旅行も見越して、そして最高学年になることを見越して、自分たちで納得するまで話し合い、みんなで決めたことを守るといふかけがえのない経験をこの臨海学習を通して積んできました。学校に戻ってきた5年生は一回りたくましく、そして6年生の顔に近づいていました。

【お知らせとお願い】

- ・28日より運動会特別時間割が始まります。手足の爪を切る、汗拭き用のタオルを持ってくる、衣服の洗濯をするなど、お家の方にはご負担をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・道路の歩き方、横断歩道の渡り方など、気になる姿が見られます。今年度は感染防止対策のため未実施だった交通安全教室を低学年を中心に運動会後行います。自転車の乗り方については、引き続きご家庭でご指導をお願いします。
- ・健康観察カードNo.4をお配りしてあります。最近、検温をしないまま登校してくる子が増えてきているという報告があります。朝、お忙しい時間であることは承知しておりますが、必ずお願いします。